

【資料編】

社会福祉法人八尾市社会福祉協議会

第4次地域福祉活動計画

(中間見直し)

令和7年(2025年)3月

社会福祉法人 八尾市社会福祉協議会

目 次

- 1, 32 地区福祉委員会ヒアリングでの意見
- 2, モデル地区ワークショップ
- 3, 団体ヒアリング
- 4, 八尾市地域福祉に関するアンケート調査結果

※八尾市のホームページ（地域福祉に関するアンケート調査 結果報告書）をご参照ください。

32地区福祉委員会ヒアリングでの意見

地区福祉委員会を対象に、組織運営や活動上の課題などヒアリングより出された主な意見などをまとめました。

開催日時

圏域	地区	日程	場所	人数
1	山本地区福祉委員会	令和5年9月25日(月)	堤町集会所	3名
	北山本地区福祉委員会	令和5年11月16日(木)	福万寺公民館	2名
	用和地区福祉委員会	令和5年12月3日(日)	用和小学校区集会所	3名
	西郡地区福祉委員会	令和5年12月20日(水)	桂人權コミュニティセンター	4名
	高砂地区福祉委員会	令和6年1月17日(水)	高砂住宅集会所	7名
	長池地区福祉委員会	令和6年1月22日(月)	緑ヶ丘コミュニティセンター	7名
	上之島地区福祉委員会	令和6年1月26日(金)	上之島小学校集会所	5名
2	美園地区福祉委員会	令和5年9月20日(水)	社会福祉会館	3名
	亀井小東地区福祉委員会	令和5年9月22日(金)	龍華コミュニティセンター	9名
	久宝寺地区福祉委員会	令和5年10月2日(月)	久宝寺コミュニティセンター	6名
	龍華地区福祉委員会	令和5年10月18日(水)	龍華コミュニティセンター	2名
	亀井地区福祉委員会	令和5年10月20日(金)	亀井小学校区集会所	4名
	永畑地区福祉委員会	令和5年10月25日(水)	社会福祉会館	2名
	竹淵地区福祉委員会	令和5年11月21日(木)	竹淵地区コミュニティセンター	5名
3	大正南地区福祉委員会	令和5年9月4日(月)	大正コミュニティセンター	4名
	曙川地区福祉委員会	令和5年9月9日(土)	曙川コミュニティセンター	5名
	志紀地区福祉委員会	令和5年9月12日(火)	地区福祉委員長宅	2名
	大正北地区福祉委員会	令和5年10月16日(月)	大正小学校プレイルーム	14名
	曙川東地区福祉委員会	令和5年10月29日(日)	曙川東小学校	7名
	刑部地区福祉委員会	令和5年12月11日(月)	刑部地区集会所	7名

4	安中地区福祉委員会	令和5年8月30日(水)	東郷自治会館	3名
	高美地区福祉委員会	令和5年9月13日(水)	高美地区集会所	4名
	八尾第1地区福祉委員会	令和5年10月20日(金)	東郷自治会館	15名
	高安西地区福祉委員会	令和5年11月12日(日)	高安西地区集会所	2名
	八尾第2地区福祉委員会	令和5年11月13日(月)	西郷会館	12名
	南山本地区福祉委員会	令和5年12月2日(土)	南山本地区集会所	4名
	高美南地区福祉委員会	令和5年12月12日(火)	安中人権コミュニティセンター	3名
	八尾第3地区福祉委員会	令和6年1月18日(木)	社会福祉会館	3名
5	南高安地区福祉委員会	令和5年9月6日(水)	南高安コミュニティセンター	5名
	西山本地区福祉委員会	令和5年11月8日(水)	西山本町公民館	2名
	東山本地区福祉委員会	令和6年1月16日(火)	東山本小学校集会所	2名
	高安地区福祉委員会	令和6年1月19日(金)	高安コミュニティセンター	7名

		現状	課題
ヒアリング内容	(1) 重点的な取り組み	<p>コロナが第5類に移行し、食事会やふれあい喫茶といった地域活動が再開した地区が多い。地区によっては、佐野満男基金の助成金を活用しながら活動をしている(手引き方法や車いすの使い方講習会、ふれあい喫茶でのお手伝い等)。</p> <p>また、ボランティアによる演奏を聞いて楽しむだけでなく、参加型のプログラムを企画する等の活動の工夫をされている。</p>	<p>活動することを望んでいるが、コロナ禍による数年のブランクにより、活動ノウハウが分からない方や担い手の交代などが増えている。</p> <p>コロナが第5類に引き下げられたが、完全に地域活動をコロナ前に戻すことができず、それに伴い参加者も減少している。</p>
	(2) 運営について	<p>① 役員会・部会の開催について</p> <p>開催している地区、開催していない地区、行事前にのみ行う地区など、地区によって開催頻度は異なっている。</p> <p>また、zoom・グループライン等のICTを活用した情報共有をしている地区もある。</p>	<p>役員会を実施するが、仕事などを理由に参加者が少なく、参加者に偏りが見られる。役員会を開催できていない地区もあり、関係団体(委員長連協やまち協等)による会議内容の情報が地区内で共有できない地区も見られる。</p>
	② 各種団体間の連携について	<p>地区福祉委員会や各種関係団体(民生委員やまちづくり協議会、自治振興委員会等)との役職を兼務されており、情報共有における連携が取れている地区がある。その一方で委員同士の関係性や個人情報の共有に懸念されている場合もあり、連携が取りづらい地区もある。個別援助活動の際にも各種関係団体との連携を図ることによって、担い手の負担軽減や地域内の見守りに対するネットワークの強化につながっている地区もある。</p>	<p>他団体(民生委員児童委員等)で確保している情報も個人情報保護の観点から、開示が難しく、連携の取りづらさを感じている地区が存在する。</p> <p>連携ができていない地区がある一方、地区内における各団体の活動状況もわからず縦割りになり、連携不足が生じている地区もある。</p>
	③ 担い手について	<p>長期的に役員を担っている方もおられ、各地区での担い手の高齢化が進んでいる。</p> <p>しかし、役職を長く担うことで知恵や経験が増え、新任への活動に関する助言や相談できており、活動環境が整っている。</p>	<p>役員重複や高齢化による退任により、次の担い手に十分な引継ぎができないまま活動が進んでいる地区が存在する。</p> <p>活動に関する相談が出来ず、悩んでいる担い手が存在する。</p>

		現状	課題
(3) 活動している	① 財源について	<p>小地域ネットワーク補助金や地域活動強化助成金などの補助金を活用している。補助金以外に、地域活動の参加費や町会費を補填しながら活動している。</p>	<p>コロナ禍を経て活動未再開地区が多かったことや活用方法に関する理解不足もあったため、助成金返還地区が多数ある。物価上昇のため、参加費（食事会等）を繰り上げも検討せざるを得ない状況もあるが他地区との相場がわからず悩んでいるが地区もある。小ネットの助成金だけではなく、他団体独自の助成金にはそれぞれの用途があり、共催行事の際の活用ルールが分かりにくい。町会の加入率が低下し、それに伴い生じている町会費の徴収金額の減額から福祉委員会全体の財源が減っている。</p>
	② 活動拠点について	<p>コミュニティセンターや地区集会所、小学校内のランチルームや集会室、公園など様々な拠点で地域活動を行っている。</p> <p>活動拠点が定まっている（会館や集会所等）地区では、委員同士が気軽に集まり、打ち合わせ等を実施することが出来ている。活動拠点によっては、他団体（小学校等）と一緒に活用している地区もあり、それによって関係性構築にもつながっている。</p>	<p>活動への参加を希望しているが、足腰が悪く参加できず移動手段に困る住民が多い。活動参加者の高齢化により、活動拠点にも行けない状況が多数あることから活動拠点の分散を検討せざるを得ない。</p>
	③ 担い手について	<p>行事によってPTAや青少年指導員、小・中学校に働きかけをし、若い担い手と協力しながら、次期担い手となる住民を発掘する等工夫もされている。</p> <p>また、行事ごとにリーダーとなる担い手（実行委員等）をつくり、役割分担することによって最後までスムーズに取り組んでいる地区もある。</p>	<p>新興住宅等に住む住民との関係性が少ないことから後任探しのアプローチができず、比較的若手の担い手不足が生じている。新しいマンションではオートロック等もあり、古くから住む住民とのコミュニケーションを図ることができていない。それにより町会加入周知・行事周知等の広報もできていない。</p>

モデル地区ワークショップ(8地区)まとめ

	地区名	実施日	実施場所	参加人数	参画機関	ヒアリング内容		
						(1)いいところ、魅力	(2)暮らしの困りごと	(3)こんな〇〇があったらいいな
①	八尾第二地区	6月18日	本六北会館	20名	・八尾市高齢介護課 ・高齢者あんしんセンター ・長生園	<p><住民同士のつながり、交流> ・小さい地区だけど地域の団結力があり地域行事(市民スポーツ祭など)に力を入れて取り組んでいる</p> <p><公共施設など> ・銀行や商店が多くあり、交通の便もよく買い物がしやすい</p> <p><地域行事> ・食事会や伝統的な河内音頭、もちつき大会など住民同士交流する機会が多くある</p> <p><歴史、文化> ・河内音頭発祥の地でもある常光寺や八尾神社など文化的な建造物がある</p>	<p><住民同士のつながり、交流> ・転入者やマンション、町会の加入率が低くなっていることでつながりが希薄化している</p> <p><担い手> ・仕事をしている人が多く、地域の役を担えない人が増えていることにより、担い手が固定化し高齢化している</p> <p><見守り・安否確認> ・オートロックマンションが増えていることや町会未加入もあるため、一人暮らし高齢者がどこにいるのか把握がしづらい</p>	<p><居場所> ・独居高齢者の外出するきっかけづくりとして100円喫茶をしたい</p> <p>・学校に行きたくてもいけない子どもたちの居場所づくりを考えたい</p> <p>・子ども会としては子どもたちに農業体験をさせてあげたい</p>
②	長池地区	8月9日	緑ヶ丘コミュニティセンター	35名	・八尾市高齢介護課 ・高齢者あんしんセンター ・萱振苑	<p><住民同士のつながり、交流> ・元気で明るい方が多く、隣近所気さくに声かけやあいさつをしている</p> <p><交通面> ・近鉄八尾駅が近く、バスも通っているため移動がしやすい</p> <p><公共施設など> ・スーパーが多く近隣にあり買い物がしやすく、また移動スーパーも地区内に来てくれるため買い物が便利になった</p> <p>・生涯学習センター、保健センターが地区にあり学習の機会や相談できる窓口が近くにあり心強い</p> <p><地域行事> ・ふれあい喫茶がありや食事会を開催しており福祉関係の取り組みを活発に行っている</p>	<p><住民同士のつながり、交流> ・町会加入率が低くなっており、町会から抜ける人も多く、つながりが希薄化している</p> <p><生活環境> ・ひとり暮らし高齢者でゴミ出しや草引き、電球の取り換えなどちょっとした困りごとが一人ではできないことが多い</p> <p>・スーパーが近くにあり便利にはなっているが、買い物をしたあとの荷物運びが大変な人もいる</p> <p><居場所> ・高齢者の仲間づくりができる場所が少ないと感じる、特に男性高齢者は自宅で過ごす時間が多くなりつながりが少なくなるため、外出するきっかけが必要と感じる</p> <p>・公園でのボール遊びが禁止になっていることにより子どもの遊び場が少ない</p> <p><担い手> ・次期担い手になってくれる人がいなく、食事会の参加者とボランティアが同年代になっており、地域行事を手伝ってくれるボランティアが少ない</p>	<p><居場所> ・高齢者同士が趣味を通して仲間づくりができる場づくり(健康麻雀、ふれあい喫茶、健康体操、歌謡教室、おりがみ、トランプなど)</p> <p>・子どもや高齢者、在日外国人など地区で多世代が交流できる機会があればいい</p> <p><地域行事> ・地区の中で気になる一人暮らし以外の方も食事会に参加できる機会がつかれるといい</p> <p><生活支援> ・高齢者が買い物や通院のための移動サービス</p> <p>・力仕事やちょっとした困りごと(電球の取り換え、ゴミ出しなど)のお手伝い</p> <p><町会関係について> ・地区の中で気になる一人暮らし以外の方も食事会に参加できる機会がつかれるといい</p> <p>・公園の中で気になる一人暮らし以外の方も食事会に参加できる機会がつかれるといい</p>
③	亀井地区	9月26日	亀井福祉会館	16名	・八尾市地域共生推進課 ・竹淵出張所 ・高齢者あんしんセンター ・ホーム太子堂	<p><住民同士のつながり、交流> ・親世代、子世代でつながりがあり隣近所顔なじみが多い</p> <p><地域行事> ・年に一度の地区全体での納涼祭や市民スポーツ祭など大きな地域行事も盛んであり、また、健康体操やふれあい喫茶、食事会など小地域ネットワーク活動も活発に取り組んでいる</p> <p><インフラ面> ・スーパーが多く立ち並んでおり買い物も便利にでき、またJR八尾駅も近く交通の便もいいため過ごしやすい地区である</p> <p>・亀井公園と北亀井町公園の公園が2つあり子どもたちの遊び場や住民たちの憩いの場にもなっている</p>	<p><住民同士のつながり、交流> ・新旧住民の交流の機会がなく、若い人の行事への参加も少ないため、どのようにつながりをつくってほしいのか課題となっている</p> <p>・少子化の課題や30～40代の子育て世代が地域活動に時間が取れず、子ども会が休会、無くなっている町会が多くある</p> <p><担い手> ・50～60代の人が自治会活動への参加が少なく、福祉委員会、自治振興委員会の役員が高齢化しているため次期役員探しも課題となっている</p> <p><清掃> ・北亀井公園は広すぎて草刈りもできなく手つかずになっている。昔はゲートボールなど地域の活動場所でもあった</p> <p><災害時について> ・災害時の要支援者の見守りを地区内で誰が行うのか課題となっている</p>	<p><居場所> ・新しい人が地域活動に参加しやすい環境をつくってほしい</p> <p>そのためにも子どもが遊べる企画や世代問わず気軽に集まれる企画を考えて、若い人とつながれるような機会をつくる</p> <p><地域行事> ・地区内で気になる一人暮らし以外の高齢者も食事会に参加してもらいたい</p> <p>・公園の草刈りや清掃を一緒にしてくれるボランティアを募集したい。地域の中でみんなが集える場になればいい</p> <p>・食事会がマンネリ化しているため、食事後にパフォーマンスしてくれるボランティアを呼びたい</p> <p><災害時について> ・災害時要配慮者の見守り体制の検討が必要</p>
④	高砂地区	10月16日	高砂住宅集会所	30名	・八尾市地域共生推進課 ・高齢者あんしんセンター ・スローライフ北	<p><住民同士のつながり、交流> ・近所づきあいが良く、声かけ、あいさつをしている。府営住宅では住民同士助け合って、自然な見守りができている</p> <p>・中国籍の人に餃子をこ馳走いただいたり交流がある</p> <p><交通面> ・バス停が近くにあり病院や大型スーパーなど市街地に出る時は利用している</p> <p>・府営住宅に移動スーパーが来てくれるため買い物ができ便利である</p>	<p><地域の美化活動> ・高砂住宅全体で少子高齢化が進んでいるため、清掃をするにも身体的に負担がかかり草木が伸びたり階段掃除ができず清掃活動が止まっている</p> <p>・ゴミ出しの日が守られず、カラスにゴミを荒らされるため住宅回りに散らかっている</p> <p><担い手> ・住宅全体が高齢化しており若い人が入ってこないため役員をしてくれる元気な人がいない60代の役員が若手という状況になっているため元気な人は積極的に役員になってもらいたい</p> <p><移動について> ・バス停が近くにあり便利ではあるが本数が少ないため移動がしづらい</p> <p><暮らしの困りごと> ・災害発生時、住宅全体で対策ができておらず不安になっている</p> <p>・数年前に住宅で高齢者の孤独死があり、一人暮らしも多いため心配だが交流やつながりを求めない高齢者もいる中でどのような方法で気にかかけあえばいいかわからない</p>	<p><居場所> ・集会所を活用してレクリエーションや体操、脳トレなどがしたい</p> <p>・中国籍の人と交流ができる機会があるといい</p> <p><見守りの仕組み> ・一人暮らし高齢者の孤独死を防ぐためにも安否確認ができる方法を考えていきたい</p> <p><担い手作り> ・草刈りや清掃、高齢者の話し相手などを住民だけでは担えないため学生ボランティアに協力してほしい</p> <p><移動手段> ・移動が困難な高齢者のために目的地まで連れて行ってくれるような移動サービスがあればいい</p>
⑤	西郡地区	11月9日	桂人權コミュニティセンター	35名	・西郡出張所 ・桂人權コミュニティセンター ・高齢者あんしんセンター ・スローライフ北	<p><住民同士のつながり、交流> ・近所づきあいがよく、親しみやすい。民生委員がいることが心強く自分のことより人の心配をしてくれるやさしいまち</p> <p><地域活動> ・食事会やふれあい喫茶、ふれあい朝市やたんじりなど地域行事が盛んに行われており、いつも楽しみにしている方が多くいる</p> <p><移動手段> ・まちづくり協議会が主催で行っているあいらぶ自動車の活動が住民にとって移動手段の一つになっている。住民主体で行われておりバス停まで行くことが困難な高齢者のために自宅から目的地まで運転をしてくれることが大変ありがたく感じている</p> <p><人権について> ・反差別集会は今年で21年目になり運動の歴史を若い世代に伝える取り組みなど人権の推進をしている</p>	<p><生活環境> ・高齢化が進んでおり、一人暮らしで換気扇掃除や電球交換など手の届かないところの掃除や片付けができなく困っている</p> <p>・団地によってはエレベーターがないところは不便で、下の階に引越しをする人も増えているが、高齢者の階段の上り下りが大変で外出が困難な課題がある</p> <p>また、それに加えて団地の清掃もできにくくなっている</p> <p>・空き家が増えていることや街灯も少ないため不安と感じ、高齢者も多く住んでいるため詐欺などの犯罪も心配である</p> <p><移動について> ・スーパーが遠く買い物が不便であり、自転車に乗れなくなった時に移動手段が限定されるため今後の生活に不安を感じている</p> <p>・乗り合いタクシーができたが、予約方法や利用方法が分かりづらく利用したくても利用できない</p> <p>・食事会に参加したくても会場の拠点から遠く参加できない住民がいるため、食事会に参加できる移動方法を考える必要がある</p> <p><担い手> ・役員の高齢化が進んでおり次期担い手がないため給食会などのボランティアをする人も少なくなっている</p>	<p><居場所づくり> ・誰もが気軽に集えてコミュニケーションが取れる居場所がほしい(例えば錦温泉は高齢者も通っている場でもあるためサロンなどで活用できたらいい)</p> <p>・グランドゴルフなど運動ができるような場もあったらいい</p> <p><移動支援> ・食事会に参加したくても移動距離の問題で参加できない高齢者に対して送迎をしたい</p> <p>・あいらぶ自動車は高齢者が移動手段のための大切な活動であるため継続してほしいがボランティアをする担い手の確保が必要となっている</p> <p><生活支援> ・換気扇の掃除や電球交換など高齢者のちょっとした困りごとを手伝ってほしい</p> <p><見守りについて> ・元気な時や病気の時などが分かるような旗であったり、安否確認ができる地域の体制づくりが必要と感じる</p>

⑥	南高安地区	11月24日	南高安 コミュニティ センター	21名	<ul style="list-style-type: none"> ・南高安出張所 ・高齢者あんしんセンター 信貴の里 	<p><住民同士の交流、つながり></p> <ul style="list-style-type: none"> ・祭りを中心に、村の青年団や老人会が新しい住民を巻き込んでいるため、地区全体で地域住民同士で助け合いながら行事をしている また、他地区とは異なり、小学校と中学校が地区に1つずつあるため顔見知りが多く団結力もあると感じる ・青年団や消防団等、地域を引っ張ってくれる人たちがいるため心強い <p><地域行事></p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども会も老人会もなくなっている地区もあるが、子どもが夏祭りや秋祭りなどの行事にたくさん参加している 	<p><居場所></p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めての子育てに不安を抱えている子育て世帯が多いため、子育て世帯の悩み相談が身近にできる場があればいい ・昔は隣近所で子どもたちが外遊びをしていたり、住民の井戸端会議があったが今はその様子を見る機会が少なくなったため、子どもたちの居場所や住民同士のつながりがつくれるような機会があればいい <p><担い手></p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員の次期担い手となる人もいなく、欠員が出ている地域もある。民生委員の業務が現役の人でも働きながらできるような仕組みがあればいい <p><移動支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗り合いタクシーが予約制ではなく、いつでも乗れるようになってほしい
⑦	高美地区	11月28日	高美小学校 区集会所	32名	<ul style="list-style-type: none"> ・八尾市地域共生推進課 ・安中人権コミュニティセンター ・高齢者あんしんセンター 成法苑 	<p><住民同士の交流、つながり></p> <ul style="list-style-type: none"> ・町会の班同士仲が良くあいさつや交流もある。そのため地域行事の時に協力してくれる住民もいる <p><交通面></p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅やバス停が近くにあり移動がしやすいことに加え、平地のため自転車でも移動が楽にできる <p><公共施設など></p> <ul style="list-style-type: none"> ・徳洲会病院や大型スーパー、飲食店、スーパーも近くにあり、移動スーパーも来てくれるため都市部まで行かなくても便利に利用できる <p><地域行事></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高美フェスタや市民スポーツ祭など参加者が多く活気があり、また、まちづくり協議会の自主防災組織が主体となり避難所開設訓練が行われ地域内の防災意識が高い 	<p><居場所></p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性が地域行事に参加する機会が少ないため男性が参加しやすい場づくりや男性同士の集える場、また昔あそびを通して若者や子どもと交流する場があればいい ・高齢者が身近な場所で体を動かせるような健康づくりをしたい ・地区内には公園が多くあるが清掃されていないところもあるため、きれいにしてラジオ体操などができるようにしてほしい <p><生活支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らし高齢者や身体が不自由な高齢者のために宅配をしてあげるなどちょっとした困りごとを助けてくれるようなボランティアがあればいい
⑧	大正北地区	12月7日	大正北小学校 プレイルーム	26名	<ul style="list-style-type: none"> ・大正北小学校 ・高齢者あんしんセンター あおぞら 	<p><近所つきあい、交流></p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い人が多く住んでおり、地域ごとのつながりが強い <p><交通の便></p> <ul style="list-style-type: none"> ・近鉄バスや駅が近いこともあり都市部にも行きやすく便利である <p><地域活動、行事></p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔からの祭事が引き継がれており活気があり、祭りは40代中心の若い担い手で行っている ・食事会やふれあい喫茶など活動に参加できる場が多い ・今年から子ども食堂を開始して子どもたちの居場所づくりに取り組んでいる <p><公共施設など></p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬局やスーパーも多くあり買い物が便利であり、個人病院も多くあるため通院がしやすい ・南木の本防災体育館は平常時は住民の憩いの場ともなっており、災害時は避難所として活用される住民の安心安全を支える施設がある 	<p><居場所></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、子どもと高齢者の世代間交流が地域にないため、団体間連携や協力を経て、活動展開していきたい ・大正北小学校横に空港跡地があり、そこを活用して活動や居場所として展開したい ・空き家が増えており、掃除をして空き家対策としてそこを地域の居場所として無料活用したい <p><担い手></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のお祭りなどのつながりを活用して、地域福祉活動などへの参加を呼びかけていくとともに、既存の団体だけではなく、学生ボランティアなど若い年齢層との連携を図る <p><移動手段></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用人数が減少した等の理由により、八尾南駅から久宝寺までのバスがなくなってしまったため、久宝寺駅や市民病院まで行くことができる移動手段がほしい ・食事会のタクシーを地域住民に知ってほしい <p><災害時について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時に備え住民同士の関わりを増やしていきたいため、地域での防災訓練にも世代問わず住民が入ってきてほしい ・災害時の名簿の活用方法について知りたい

団体ヒアリング（8団体）まとめ

	団体名	実施日	実施場所	参加人数	ヒアリング内容		
					2. 現在の活動について (活動概要、力を入れている活動について)	2. 活動上の課題や工夫について	3. 今後の取り組みについて
①	八尾市ボランティア連絡会	令和6年 11月25日	サポートやお	4人	<ul style="list-style-type: none"> ふれあいフェスタにてボランティアグループ等の啓発 フレイル予防教室の実施（開始より4年目） 広報誌「ボランティアだより」の発行 他市との交流 SNSや機関紙等を活用した広報 [その他] 活動に参加した子ども達が次の担い手につながっている 高齢者のボランティアは、自身のボランティアグループを大切にしている傾向が強く感じる 	<ul style="list-style-type: none"> 連絡会が2ヶ月に1回の開催のため、グループ同士の意見交換が難しい 単年で代表が変わるグループがある 登録基準の違いから八尾市ボランティア連絡会からやお福祉プラットフォームへ移行されることがある 会員の高齢化の増加や認知症の症状が見られることがある 子どもに関する活動を行う際は、ケガ等なにかあったらと思うと実施に不安感がある 地域で受け入れてもらえないこともあり、連携に難しさを感じている 担い手間において情報伝達のスピードが遅く感じることがある 	<ul style="list-style-type: none"> 連絡会内の意見交流や地域との情報交換の実施 他市のボランティアや学生ボランティアとの交流 それぞれの強みを生かしたグループ同士の交流 登録団体増加を目指した登録条件の見直し 活動発信力の強化と掲示板等を活用した地域への周知 子育て世代への活動周知
②	八尾市民生委員 児童委員協議会	令和6年 12月12日	社会福祉会館	2人	<ul style="list-style-type: none"> 地区福祉委員会や自治振興委員会等と連携し、地域活動を行っている地区がある ひとり暮らし高齢者や避難行動要支援者を対象に、見守り活動や聞き取り調査を行っている 民生委員・児童委員（以下、委員）として他市との合同研修等にも参加している 委員の負担軽減を目指し、活動しやすい環境整備に向けた検討会を実施した 	<ul style="list-style-type: none"> 地域によっては、委員の印象が悪く、訪問を拒否される方がいる 委員の高齢化が進んでおり、地区によっては後任が中々決まらない 委員への依頼事項が年々増加している印象がある ICTの導入が必要であることは理解できるが、委員の高齢化も進んでいるため、操作方法が分からない方もいる 	<ul style="list-style-type: none"> 役割や活動の正しい理解促進が必要ではないかと考えている 担い手確保を目指し、地域の他団体に所属している次世代への声掛けが必要となってくる 委員同士の交流、意見交換の場を日頃から設ける必要であると感じている
③	八尾市ひとり暮らし老人の 会連絡会	令和6年 12月20日	社会福祉会館	6人	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に地域活動（食事会やサロン等）の役員会を実施し、役員同士の意見交換を行っている それぞれの地区の会長を対象にした研修会を実施している 民生委員・児童委員と連携して、会員の増加を目指している 	<ul style="list-style-type: none"> 会員の高齢化が進むとともに、会員が減少している 民生委員・児童委員と連携し、新規会員につながっている地域もある一方で、新たな会員につながらず苦戦している地域が多数ある 日頃からデイサービスに行くなど、在宅の高齢者が少ない印象がある 研修会を企画するも移動手段がなく、会場に来ることができない会員が多い 地区独自で活動を企画しても予算もなく、開催できない地区もある 「当事者の会」として参加しているため、何かサービスが受けることができる団体だと思っっている会員も存在する 	<ul style="list-style-type: none"> 同じ地区内の他団体と協力し、活動を継続していきたい 他地区内の会員同士の交流会の実施 他地区でどのような活動を実施しているのか見学するのはどうか
④	八尾市介護者（家族）の会	令和6年 12月2日	社会福祉会館	6人	<ul style="list-style-type: none"> 世の中の情勢に沿った内容や現在介護をしている方のお声を研修のテーマとして取り入れている 交流会に力を入れている 電話相談を継続的に実施している 	<ul style="list-style-type: none"> 電話当番や次期の担い手が非常に少なく、会として存続の危機に陥っている 現在介護を行っている当事者に加入してほしいと思うが、中々忙しく参加してもらえない 介護中であれば、中々研修に参加することができない方も多い 電話を複数回かけてくれる方もおり、ニーズはあると思うが、個人情報の取り扱いも懸念され、情報共有が難しく感じている 	<ul style="list-style-type: none"> 委員の高齢化が著しく、電話相談等のニーズはあると思うが運営のあり方の見直しや改めて考える必要がある 当事者会の継続的な広報啓発
⑤	八尾市障害者団体連合会(1) ・八尾市聾者福祉会	令和6年 12月5日	社会福祉会館	2人	<ul style="list-style-type: none"> 野外活動や交流会等「楽しい」を中心とした活動をできるようにしている 府内の活動として、河内ブロックとして活動報告の実施や会議に出席している 新聞等広報紙の作成 地域への「聞こえにくいということ」、「手話」の理解促進 	<ul style="list-style-type: none"> 会としての担い手が不足している状況や高齢化が進んでいる 「聞こえにくい」ということへの理解 災害時の避難所、コミュニケーションの取りづらさがある 災害時等においても地域住民と筆談やジェスチャーを使いながら簡易的にコミュニケーションを取ってほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 手話や「聞こえにくいこと」の啓発に継続して力を入れていきたい 手話ボランティアグループと一緒に楽しく啓発をしていきたい 地域で気軽に一緒にできることはないかどうかを考えていきたい
	八尾市障害者団体連合会(2) ・八尾市身体障害者福祉会 ・八尾視覚障がい者福祉協会	令和6年 12月10日	社会福祉会館	4人	<ul style="list-style-type: none"> (八尾市身体障害者福祉会) 府内の活動として、河南グループとともに行事参加等の活動に取り組んでいる 役員会を継続的に実施し、意見交換の場を設けている (八尾視覚障がい者福祉協会) レクリエーション、文化教室等、多岐にわたる事業を月に複数回行っている 視覚障がい者理解のため、複数の小学校・高等学校にて講座を行っている 府内全体の会議等に参加している 子ども達が楽しめるような活動を目指している 	<ul style="list-style-type: none"> (八尾市身体障害者福祉会) 運営者が不足している現状がある 障がいに関する関心も薄く、障がい者理解が必要な現状がある 現役として働いている方との接点が少ない (八尾視覚障がい者福祉協会) 会員の半数以上が後期高齢者となっており、またヘルパーも高齢化し、ヘルパー自体減少している 会員が減少し、会員の増員が一番の目標となっているが、ヘルパーも減少しているため、会員・ヘルパーの増員が望まれる 比較的若い方にとって、会に加入する必要性がないと感じている方が多い印象がある 	<ul style="list-style-type: none"> (八尾市身体障害者福祉会) 障がいがあるからと言って引込み思案になるのではなく、何事も積極的に関わってほしい 地域行事への積極的な参加を目指したい (八尾視覚障がい者福祉協会) SNSでの発信を続け、家族や周囲から当事者に届くことを期待している 地域へ参加しやすい環境を作ってほしいと感じている 多くの市民の目につく場所での広報を大切にしていきたい

⑤	八尾市障害者団体連合会(3) ・八尾市障がい児者問題協議会 (八尾市肢体不自由児者父母の会)	令和6年 12月11日	社会福祉会館	4人	<p>(八尾市障がい児者問題協議会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月定例会を開催しており、会員の定期的な情報交換を行っている。教育委員会と障がい福祉課も参加している。 ・障がい理解啓発事業は夏のタベ、クリスマスの集いを開催。夏のタベは民生委員や学校、障がい作業所とも連携し盆踊りやブースを出店している。他にも会の啓発として作品展や講演会を実施している。 ・障がい福祉課との意見交換や大学の先生との助言や話し合いを実施している。 ・会員同士の交流を図るために月例会の実施や年4回会報を発行している。 <p>(八尾市肢体不自由児者父母の会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい福祉課との意見交換や大学の先生との助言や話し合いを実施している。 ・会員同士の交流を図るために月例会の実施や年4回会報を発行している。 <ul style="list-style-type: none"> ・夏のタベやクリスマスの集いにも参加している。 ・大阪府肢体不自由児者父母の会連合会(大肢連)の行事へ参画、チャリティバザーの実施、東大阪市と八尾市でのブロック懇談会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営するにあたり担い手が不足している ・福祉サービスの充実化や若い人の考え方も変化してきており、情報がSNSで取得していることも多く会の活動に参加する必要がないと感じている人も多い ・車いすを使用している全介助が必要な方の入所できるグループホームがほとんどない ・親なき後の子どもの支援。後見人の制度理解が難しい ・災害時、一人一人障がいの特性も異なるためプライバシーの空間の確保が必要で避難所へも行きづらさがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や障がい事業所との連携で空き教室を活用した誰もが集える居場所づくり ・小さなコミュニティスペースで障がいがある人とふれあえる場等、週1回でもいいためコミュニケーションを取れる機会をつくっていききたい ・学童期の会員が少なく、いちよう学園と連携し会員の確保が必要と感じる
	八尾市障害者団体連合会(4) ・八尾市障がい児者問題協議会 (発達障がいの会・八尾)	令和6年 12月17日	社会福祉会館	3人	<ul style="list-style-type: none"> ・学識の先生を招き、月に1回の学習会を実施しており、心理検査等を用いる等、根拠がある支援に力を入れている ・研修参加者の中にも教職員もあり、事後学習にもつなげている ・オリジナルホームページを立ち上げ、学習会等の内容を掲載し、事後学習や広報にも力を入れている ・2ヶ月に1回、サロンを実施し、主に当事者を持つ保護者である参加者同士の交流や居場所として実施している 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営費等の助成金がなく、学習会資料代徴収分から補っている ・特に就労している会員には運営負担があると感じている ・会員も増減を繰り返している現状があり、会としての広報活動が課題であると感じている ・障がいが見た目で分からず個人差もあるため、啓発が大切であり、伝え方が難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障がいの正しい理解促進や医師・教育機関等の支援者に対する啓発を引き続き行いたい ・当事者のためにも早期発見、早期支援につなげていきたい ・社協や行政と一緒に何かできる取り組みがあればと思う
⑥	社会福祉施設連絡会	令和7年 1月14日	社会福祉会館	9人	<ul style="list-style-type: none"> ・「災害時発生等における福祉避難所等への協力協定」に基づいて対象者の受入れを行った ・地域の方が気軽に参加できるようなイベントや施設を身近に考えてもらえるような方法を日々検討している ・災害に備え、施設として避難所になる想定や地域住民が1週間程度生活できるような備蓄の準備、備蓄倉庫を整えている ・子ども食堂への食材支援や地域活動の支援を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設連絡会としての防災訓練が必要ではないか ・地域貢献したいと考えるが、担い手不足が喫緊の課題となっている ・地域住民にとって、身近に感じてもらえるような取り組みが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者理解を目指し、車イス講習、勉強会の実施、施設見学・交流会等の取り組みが必要ではないか ・施設が身近に感じてもらえるような広報活動が求められている ・施設連絡会加盟施設同士が横断的な連携を行っていく必要がある
⑦	コワーキングスペース Nuts	令和6年 12月11日	コワーキングスペースNuts	1人	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生がやってみたいと思うアイデアを地域につなげることをしている ・高校生自身が主催者となりイベントの開催やイベント主催者を紹介し企画立案をしてもらい、具体的にはゲートボール大会やVチューバー、趣味や好きな漫画について語り合う会などを開催した ・活動拠点はコワーキングスペースとして学生や社会人がミーティングや会議場所、作業場所として利用している ・やおうえるかむ commons 高校合同文化祭の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生にコワーキングスペースを知ってほしいが広く周知ができていない ・学校へ広報周知を行いたい協力を得るのが難しく、何かやりたいと思っているが一歩踏み出せる機会がない学生に届けられないもどかしさを感じている 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生のやりたいと思っていることを実現するために企業との連携を図っていききたい ・Nutsの活動を知ってもらうためにも高校生向けに啓発イベントを企画しつなげてもらいたい。 ・学生へ広報するためにも教育委員会や学校関係者に協力をしてもらえる方法を検討していききたい
⑧	コミュニティナース八尾	令和6年 12月17日	おむすびスタンド むすんでにぎって	1人	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティナースは資格や職業は問わず、コミュニティナーシング(地域看護)という考えをもとに、地域の身近な場所で自由で多様なケアを行い、人とのつながりをつくりまちを元気にすることを特徴としている ・活動はコミセンや地域の集える場で親子対象にサロンや健康相談を実施している ・コミュニティナーシングの視点を持ってもらうための研修会も実施している ・小鹿氏個人としてはお守りプロジェクトを進めており、地域の中で住民の身近な場である個人商店(喫茶店や飲食店等)とつながり、町の中でよく行く店舗が住民にとってお守り店になればという想いで動き、何か気になることがあれば小鹿氏につながるようになっていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭と仕事をしながらの活動でもあり、コミュニティナースの一人一人の活躍の場ができていない ・コミュニティナースの生活を支えるためにも活動費の工面が必要になっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティナースの活動を行政や地域住民にも広く啓発していききたい ・活動自体が特別なものではなく、地域住民一人一人ができる活動でもあることを広めたい ・今年度コミナスフェスを開催する。コミュニティナースの活動を体験、知る機会になり、伝える場としていく ・行政や社協、地域との連携をしていきたい



社会福祉法人八尾市社会福祉協議会
第4次地域福祉活動計画（中間見直し）
【参考資料編】

令和7年（2025年）3月 発行

社会福祉法人 八尾市社会福祉協議会
〒581-0003 八尾市本町二丁目4番10号
電話：072-991-1161
FAX：072-924-0974
e-mail：yaosyakyo@forest.ocn.ne.jp
八尾市社会福祉協議会ホームページ：
<https://yaosyakyo.or.jp/>